

平成 2 3 年度
教育委員会予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 3 年度教育委員会予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 事務事業の見直し等（主なもの）・・・・・・・・・・・・ 1 0

1 平成23年度教育委員会予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成23年度教育委員会予算要求総括表

【一般会計】

平成23年度要求総額 26,602,169千円
 (平成22年度予算額 23,803,983千円)
 前年度比 +11.8%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成23年度 予算要求額 A	平成22年度 予算額 B	増 減 A - B
学校図書館図書整備充実事業	25,000	0	25,000
部活動サポート事業	14,640	0	14,640
校務支援システム導入運用事業	145,426	0	145,426
幼稚園園庭芝生化モデル事業	16,217	0	16,217
学校図書館空調設備整備事業	152,930	0	152,930
「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」推進事業	10,092	0	10,092
学習支援型アフタースクール事業 ～学習支援特化型学校支援地域本部事業～	3,662	0	3,662
未来をひらく学校づくり支援事業 (学校における読書活動推進モデル事業)	34,673	17,000	17,673
開館10周年記念みちの郷土史料館 展示物等リニューアル事業	19,200	0	19,200
「はやぶさ」帰還カプセル 等特別展示	3,500	0	3,500

(2) 平成 2 3 年度教育委員会経営方針

教育委員会では、「元気発進！北九州」プランに掲げる“人づくり”を具体化するための部門別計画である「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に掲げる基本方針「教育日本一を実感できる環境づくり」の下で、「子どもの教育」に対する満足度を高めるとともに、「子どもの教育」への市民参画を進めて行く。

また、生涯学習・芸術文化の分野では、「まちづくりを支える人材の育成」や「生活に根つき誇れる文化の振興」を目指すとともに、新たに「生涯学習推進計画」を策定し、その取り組みの充実を図る。

さらに、「緑の成長戦略で、人にやさしく元気な街づくり！」に掲げられた学校図書館の本格的整備など教育関連の政策課題への対応に必要な取り組みや効果的な実施方法などを速やかに検討し、諸施策の着手、実行を図る。

思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

○心の育ちの推進

- ・道徳教育、体験活動などをはじめ、教育活動全体を通じて児童生徒の道徳的実践力をはぐくみ、規範意識の向上を図る。

○確かな学力の向上

- ・学習意欲を高める授業づくりを支援し、基礎的・基本的な知識・技能の定着とともに、それらを活用する力を高める。また、学校図書館の活用や充実等を通して、言葉の力の向上につながる読書習慣の定着を図る。

○健やかな体の育成

- ・体育科・保健体育科の授業改善や授業以外での学校全体での取り組みを充実させ、運動習慣の定着、体力の向上を図る。また、子どもの発達段階に応じた食育指導の充実を通して、子どもの食に関する知識、食を選択する力、食に関して自立できる力を培う。

○子どもの意欲を高め、特性を伸ばす教育の推進

- ・環境教育など実社会とのつながりを感じ取ることができる教育活動や部活動を推進し、子どもの意欲を高める。また、幼児教育を充実させ、幼児期と児童期との円滑な接続を図る。

○ 特別支援教育の充実

- ・ 特別支援教育相談センターや特別支援学校の機能の充実、特別支援教育の場の整備を進めるとともに、特別支援教育を推進する多様な人材を確保し、専門性を高める。

学校・教職員の力を高める

○ 信頼される学校・園経営の推進

- ・ 校務事務の効率化・システム化等により教職員が子どもと向き合う時間を確保し、学力向上、不登校やいじめなどの子どもの現状に適確に対応する。また個々の学校・園では対応が困難な事案を支援する。
- ・ 小・中学校間の連続性のあるカリキュラムの作成や教育活動の実践、教職員相互の連携など、教育効果を高める取り組みを進める。

○ 教育環境の整備

- ・ 学校施設の計画的な耐震化、老朽校舎の改築などにより安全で安心な学校施設を整備するとともに、学校図書館や学校ICT環境の充実を図るなど、充実した教育活動が展開できるよう教育環境の改善を行う。

家庭の教育力を高める

○ 家庭における教育・生活習慣づくりの充実

- ・ 情報提供、啓発活動を通して、保護者が家庭教育について学ぶ機会を充実させるとともに、子どもの基本的な生活習慣定着への理解を促す取り組みを進める。

地域の教育力を高める

○ 地域と連携した学校運営の実現

- ・ 学校の情報を積極的に発信するとともに、大学や経済界との連携など地域が学校を支援するための仕組みづくりを通じて、スクールヘルパー活動などのさらなる充実を図り、地域の学校教育への参画を促す。

○ 地域における教育活動の充実

- ・ 活動団体への支援、地域や団体活動に多くの市民が参画できる仕組みづくりを通じ、子ども家庭局とも連携して地域の教育活動の充実を図る。

生涯学習及び芸術・文化の充実

- 多様な学習機会や学習情報、学びの場の創出
 - ・市民が気軽に学びを継続するための学習機会や学習情報を提供するとともに、図書館などの施設整備・充実を図ることなどにより、生涯学習の一層の推進を図る。
- 地域文化の保存・継承及び芸術文化の振興
 - ・市民が芸術・文化に接する機会を拡大するとともに、文化振興を市民と一体となって進めることにより、豊かな感性と教養文化の醸成を図る。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

- | |
|-----|
| — 1 |
| 新 規 |
- ・北九州道徳郷土資料の開発事業 2,626 千円
(事業概要)
本市独自に、郷土の発展に尽くした人々の生き方などを道徳の教材として開発し、自己の生き方について考えを深める道徳教育を推進する。

— 1
拡 充

 - ・未来をひらく学校づくり支援事業（学校における読書活動推進モデル事業） 34,673 千円
(うち拡充分 17,673 千円)
(事業概要)
学校における読書活動を推進するため、学校図書館嘱託職員を配置している中学校（モデル校）を14校に拡大するとともにブックヘルパーを増員することにより、学校図書館における読書環境の充実を図る。

— 1
新 規

 - ・子ども司書養成講座等学校読書活動支援事業 3,667 千円
(事業概要)
学校における読書活動の推進を支援するため、市立図書館において「子ども司書」養成講座を開催するとともに、読書感想文の募集方法を見直し、引き続き児童生徒の優秀な作品を表彰するなどして、子どもの読書に対する興味と理解を深める。

— 1 新規	・学校図書館図書整備充実事業 25,000 千円 (事業概要) 学校における読書活動を推進するため、国の示す「図書標準冊数」を目標に学校図書館図書の整備充実を図る。 (住民生活に光をそそぐ交付金基金活用予定)
— 1 新規	・「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」推進事業 10,092 千円 (事業概要) PTA と連携して、毎月「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」を定め、1 年を通じて学校、家庭等が一丸となって子どもの読書活動を推進する。
— 1 新規	・部活動サポート事業 14,640 千円 (事業概要) 専門家によるスポーツトレーニングの指導など様々な手法を用い、中学校部活動を多方面から支援することにより、より多くの生徒が入部することができ、指導者が余裕と意欲をもって指導できる部活動を推進する。
— 1 拡充	・私立幼稚園における幼児教育の充実と子育て支援 324,488 千円 (うち拡充分 31,750 千円) (事業概要) 私立幼稚園における幼児教育環境、子育て支援機能の充実を図るため助成を行う。また、子どもたちの命を守る安全・安心対策として、A E D の設置を推進するため助成の拡充を行う。
— 1 新規	・保幼小連携推進事業 1,406 千円 (事業概要) 新 1 年生が入学当初、スムーズに小学校生活を送れるようにするため、保育所・幼稚園の幼児教育環境から小学校の学習環境への円滑な接続を意識した「(仮称)保幼小連携プログラム」の作成に向けた検討を行う。

— 1
新 規

・児童・生徒増に伴う特別支援学校整備事業

50,646 千円

（事業概要）

近年の児童生徒及び教職員の増加に対応した教育環境の整備を図るため、小倉南特別支援学校等の教室改修等を行う。

（２） 学校・教職員の力を高める

— 1
新 規

・即戦力教員確保推進事業

4,865 千円

（事業概要）

より多くの受験者の中から優秀な人材を採用するため、本市学校教育の魅力をアピールするパンフレットを作成するとともに、採用候補者を対象とした事前研修を実施し、即戦力となる教員の確保に努める。

— 1
新 規

・校務支援システム導入運用事業

＜債務負担行為 332,910 千円＞
145,426 千円

（事業概要）

教員の子どもと向き合う時間を確保するため、校務事務の省力化、効率化や校務情報データの共有化による総合的な「校務支援システム」を導入する。

— 1
拡 充

・小中一貫・連携教育モデル推進事業

6,100 千円

（うち拡充分 2,700 千円）

（事業概要）

平成 22 年度から実施している小中一貫・連携教育のモデル校区を増やし、さらに実践事例を積み上げ、本市にふさわしい小中一貫・連携教育のあり方を検証する。

— 1
新 規

・幼稚園園庭芝生化モデル事業 【一部再掲】16,217 千円

（事業概要）

市立幼稚園で園庭芝生化のモデル事業を実施し、効果や問題点の調査・研究を行う。

また、芝生化を進める私立幼稚園に対して、新たに助成制度を設ける。

— 1
新 規

・ 学校図書館空調設備整備事業

< 債務負担行為 851,370 千円 >
152,930 千円

(事業概要)

学校における読書活動を推進するにあたり、ブックヘルパー(スクールヘルパー)を増員するなど地域と連携して、快適な読書環境を提供するため、学校図書館に空調設備を設置する。

— 1
新 規

・ 永犬丸西小学校建替

27,000 千円

(事業概要)

耐震診断の結果、耐震補強工事が困難な永犬丸西小学校の建替に伴う耐力度調査を行い、基本計画を作成する。

— 1
新 規

・ 城南中学校建替

39,000 千円

(事業概要)

耐震診断の結果、耐震補強工事が困難な城南中学校の建替に伴う耐力度調査を行い、基本計画を作成する。

— 1
新 規

・ 市立高等学校野球部グラウンド整備事業

25,500 千円

(事業概要)

旧陣山小学校の跡地を市立高等学校硬式野球部のグラウンドとして整備するため、実施設計及び地質調査を行う。

(3) 家庭の教育力を高める

— 1
新 規

・ 第 56 回九州ブロック PTA 研究大会北九州市大会補助金

10,000 千円

(事業概要)

九州各県の P T A 関係者が一堂に会し、子どもの健全育成に向けて、様々な課題の研究協議を行う「九州ブロック P T A 研究大会」が北九州市で開催されるため、この研究大会の開催に係る経費の一部補助を行う。

— 1
新 規

・ 「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」推進事業

【再掲】 10,092 千円

(事業概要)

PTA と連携して、毎月「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」を定め、1 年を通じて学校、家庭等が一丸となって子どもの読書活動を推進する。

(4) 地域の教育力を高める

- | |
|-----|
| — 1 |
| 新 規 |
- ・ 学習支援型アフタースクール事業
～ 学習支援特化型学校支援地域本部事業 ～ 3,662 千円
(事業概要)
基礎的な学力や学習習慣の定着を図るため、放課後等において、地域、大学生、企業等の力を借りながら、子どもたち一人ひとりにきめ細やかな学習支援を行う。
- | |
|-----|
| — 1 |
| 拡 充 |
- ・ 未来をひらく学校づくり支援事業 (学校における読書活動推進モデル事業) 【再掲】 34,673 千円
(うち拡充分 17,673 千円)
(事業概要)
学校における読書活動を推進するため、学校図書館嘱託職員を配置している中学校 (モデル校) を 14 校に拡大するとともにブックヘルパーを増員することにより、学校図書館における読書環境の充実を図る。

(5) 生涯学習及び芸術・文化の充実

- | |
|-----|
| — 3 |
| 新 規 |
- ・ オンライン商用データベースの導入 1,135 千円
(事業概要)
利用者が必要な情報を自ら検索できるオンライン商用データベースを中央図書館に導入し、利用者サービスの向上を図るとともに、より質の高いレファレンスサービスを提供する。
- | |
|-----|
| — 3 |
| 新 規 |
- ・ 生涯学習センター長寿命化等改修事業 25,552 千円
(事業概要)
生涯学習総合センター及び小倉南生涯学習センターの耐震補強工事にあわせ、外壁の補修や屋上防水、電気・空調設備の更新など、建物の長寿命化を図る工事を行うため、実施設計を行う。

— 3 新規	・開館 10 周年記念みちの郷土史料館展示物等リニューアル事業 19,200 千円 (事業概要) 平成 23 年 1 月に開館 10 周年を迎えた長崎街道木屋瀬宿記念館(みちの郷土史料館)の展示物を、平成 24 年の長崎街道開通 400 周年記念年にあわせてリニューアルし、さらなる学習効果の向上と来館者増を図る。
— 2 新規	・文化財保存修理事業 2,526 千円 (事業概要) 市指定文化財の老朽化による腐食・破損のために行う保存修理に対して、所有者の負担軽減を図るため、北九州市文化財保護条例等に基づき修理費用の一部補助を行う。
— 2 新規	・博物館展示・施設等改修事業 8,000 千円 (事業概要) 平成 24 年度の開館 10 周年及び平成 25 年度の市制 50 周年を契機に、いのちのたび博物館展示施設等の改修を行うため、基本・実施設計を行う。
— 4 新規	・市制 50 周年記念事業「北九州市民遺産展」 2,010 千円 (事業概要) 「市制 50 周年」及び「いのちのたび博物館 10 周年」を記念して、市民参加型の「北九州市民遺産展」を平成 25 年度に開催するため、旧五市以来の歴史(「歩み」)を示す写真資料等を「市民遺産」として市民から募集する。
— 4 新規	・「はやぶさ」帰還カプセル等特別展示 3,500 千円 (事業概要) 平成 22 年 6 月に帰還を果たし、国民の関心の高い「はやぶさ」カプセルの展示をいのちのたび博物館で開催し、子どもたちに科学技術やものづくりに興味や関心を持たせる機会を提供する。
— 4 新規	・第 17 回与謝野晶子短歌文学賞 2,700 千円 (事業概要) 歌人・与謝野晶子を顕彰して、全国規模で毎年開催されている短歌文学賞の表彰式を本市に誘致し、7 月 16 日～17 日に文学館で開催する。

3 事務事業の見直し等（主なもの）

（１） 行政評価の見直し

子どもの読書活動の推進

学校外で読書を全くしない児童生徒が全国と比べて多い状況にある。施策の重点化により、学校、家庭、図書館等が連携して総合的に子どもの読書活動の推進に取り組み、読書習慣の定着を図る。

特別支援教育を推進する人の配置

特別支援教育を推進する人員の配置について、児童生徒の状況や学校のニーズに対応するため、利用状況にあわせて経費を見直す一方で、要望が多い特別支援教育介助員の増加など相談支援体制の充実を図る。

博物館企画展・特別展開催事業

自然史・歴史博物館における特別展開催経費に、「芸術文化振興基金」や「海と船の企画展支援事業」の補助金を活用することにより、自主財源の拡充を図る。

（２） その他の見直し

保守管理業務（小・中学校）

保守点検業務の仕様の見直しを図るとともに、契約方法を変更することにより、経費削減を図る。